平成20年度　茨城県統計功労者表彰式の開催について

平成20年度茨城県統計功労者表彰式が，去る１月15日（木）茨城県庁９階講堂において350名の参加のもと，盛大に開催されました。統計功労者表彰式は，昨年まで統計大会として開催されてきており，統計功労者の表彰や児童・生徒の統計グラフコンクール表彰などを通じ，統計事業の一層の充実・発展と統計知識の普及啓発を図ることを目的として，昭和34年以来，毎年開催され今年で50年目となります。

表彰式は，主催者である橋本昌茨城県知事からあいさつがあった後，御臨席された総務省統計局経済基本構造統計課平成23年経済センサス準備室長江刺英信氏，茨城県議会総務企画委員会副委員長福地源一郎氏からそれぞれ御祝辞をいただきました。次いで，統計調査に長年従事され，功績が顕著な方々に対して，県知事表彰，県統計協会総裁表彰，各省大臣表彰，全国統計協会連合会会長表彰が行われました。続いて，平成20年の春・秋に叙勲・褒章を受けられた方々が紹介された後，茨城県統計グラフコンクールの県知事賞，県議会議長賞，教育長賞等の表彰があり，あわせて全国コンクール入賞者の表彰が行われました。

表彰式の開催にあたり御協力いただきました関係者の皆様，並びに表彰式に御出席されました皆様に対しまして，厚くお礼申し上げます。

橋本知事による主催者あいさつ

統計功労者に対する表彰状授与の様子

茨城県統計グラフコンクール入賞者に対する
表彰状授与の様子

景気指標を読む～景気動向指数の見方～

茨城県企画部統計課　企画分析グループ　石 井 孝 一

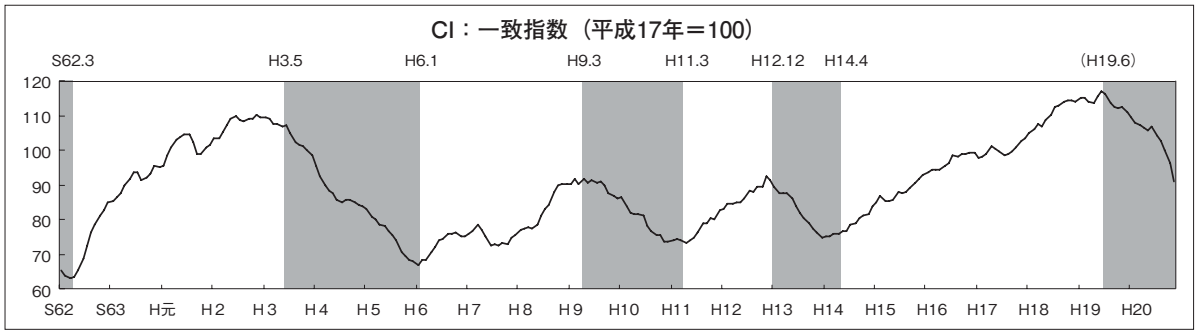
1　はじめに

平成20年秋以降，相次ぐ人員削減や業績の下方修正などの報道が目立つようになってきました。中には，業績の下方修正を２度３度と行った企業や数千億円の黒字見込みから一転して数千億円の赤字見込みに大幅な下方修正を発表した企業もあります。どれぐらいの勢いで景気が後退しているのでしょうか。

また，平成21年１月末に，内閣府は「景気の山」が平成19年10月だったとする公表を行いました。茨城県の場合は，平成19年６月が「景気の山」であった旨を平成20年10月に公表しました。

このような「景気」の「山・谷」をみるには景気動向指数がうってつけです。下の図をご覧下さい。

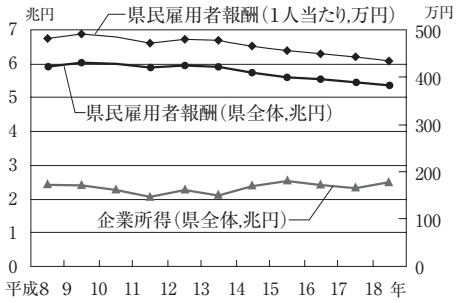
図１　CI：一致指数



これは，昭和62年以降の景気動向を表したCIの一致指数グラフです。白い部分が景気拡張期で，網掛け部分が景気後退期を表しています。平成19年６月をピークにグラフが下降しています。このグラフは３か月後方移動平均ですので，単月表示よりもならされた表現となっておりますが，それでも右下がりの角度が，特に最近の部分である右端付近で，急になっているのがお分かりいただけると思います。これは，景気の後退が急激であることを表しています。まさに，景気の動きと一致しているのがお分かりいただけると思います。

少し，過去を振り返ってみましょう。昭和62年から平成３年にかけて景気が拡張した期間はいわゆる「バブル景気」と呼ばれています。平成９年から始まる景気後退期には，山一証券や北海道拓殖銀行などが倒産した金融危機がありました。茨城県では平成14年５月から始まる景気拡張は平成19年６月まで62か月となり，データのある昭和50年以降では最長の期間となりました。これは，いわゆる「いざなぎ景気」の景気拡張期間を越えたと言われています。その一方,「景気回復の実感が伴わない」とも言われています。これはどういうことなのでしょうか。

図２　県民所得の推移



茨城県統計課：平成18年度茨城県県民経済計算から作成

図２は，県民所得がどのように推移したかを示したグラフです。企業内部留保や個人事業主の所得を含む「企業所得」は，平成14年以降わずかながらも上昇している反面，被雇用者の収入源となる「県民雇用者報酬」は，県全体で見ても一人当たりで見ても平成14年度以降下降しています。つまり，生産関

係が伸びたことによって会社に利益は貯まっても自分の懐具合が改善しなければ，好景気であるとの認識が乏しくなるのでしょう。

再び，景気動向指数の話に戻ります。

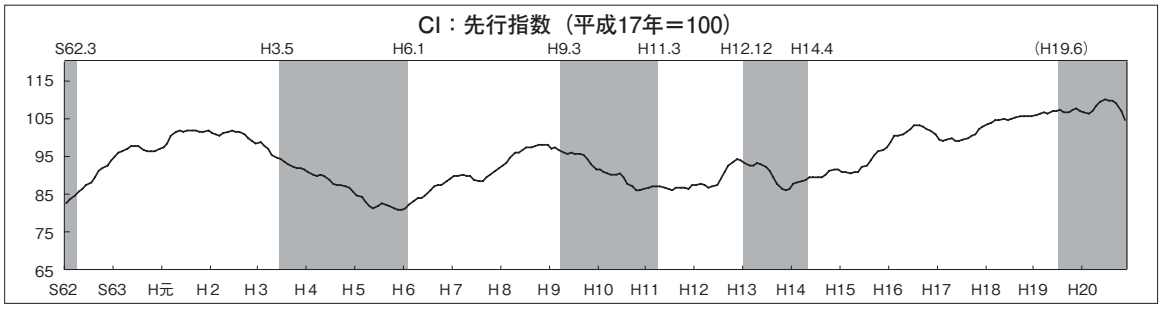
景気動向指数は，生産，雇用，消費など様々な経済活動での重要かつ景気に敏感な指標の動きを統合することによって，景気の現状把握と将来予測に使うために作成された統合的な景気指標のことです。

２　先読み，現状認識，裏付け

景気動向指数は，景気に対し先行して動く先行指数，ほぼ一致して動く一致指数，遅れて動く遅行指数の３本の指数があります。一致指数は，景気の現状把握に利用します。茨城県では，有効求人数，鉱工業生産指数，大口電力使用量，百貨店販売額，投資財出荷指数，茨城県管内輸入額，機械工業生産指数の７つの指標を用いています。前ページの図１のグラフがそれです。

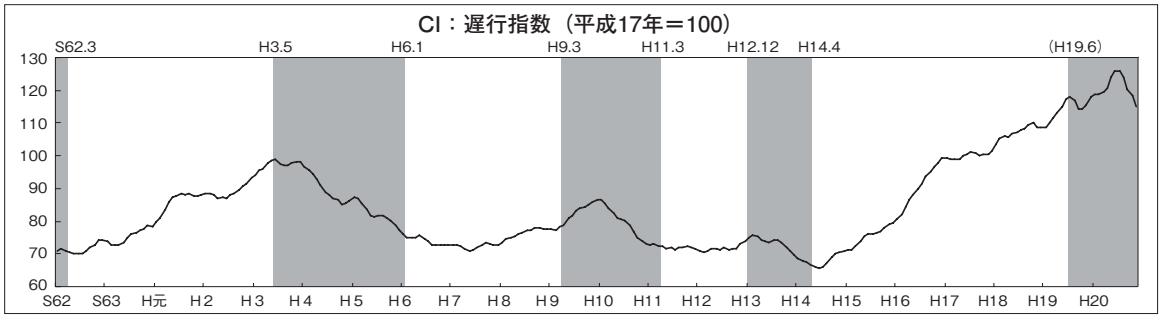
また，一般的に，一致指数に数か月先行して動く指標を指数化したのが先行指数です。茨城県では８つの指標（建設財生産指数，建築物着工床面積，製造業の所定外労働時間，パートを含む新規求人数，自動車新規登録台数，不渡手形発生率，県内金融機関貸出残高，日経商品指数（17種））を用いています。先ほどの「一致指数」に比べると，概ね先行して動いています。つまり，「先行指数」は，景気の動きを予知する目的で利用します。

図３　CI：先行指数



また，一般的に，一致指数に数か月から半年程度遅れて動く指数として，遅行指数があります。指標としては，雇用保険初回受給者数，水戸市の勤労者世帯消費支出，茨城県消費者物価指数，法人事業税調定額，最終需要財在庫指数，資本財生産指数，製造業の常用雇用指数の７つがあります。遅行指数は，景気の転換点や局面の確認に利用します。

図４　CI：遅行指数

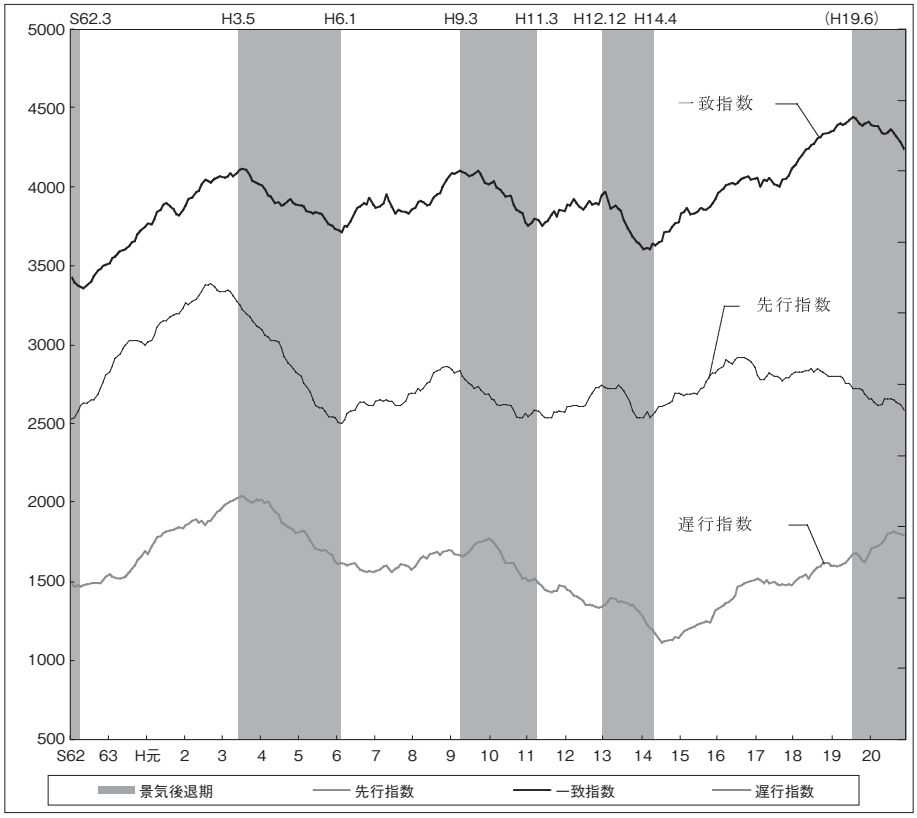


更に，景気動向指数には，CIとDIとがあります。CI（コンポジット・インデックス）は，景気に敏感な指標の量的な動きを合成した指標で，主として景気変動の大きさやテンポ（量感）を測ることを目的としています。

月々のCIの動きについては，極端な外れ値の影響は除いていますが，不規則な動きも含まれることもありますので，移動平均値をとることにより，月々の動きをならしてみることが望ましいといえます。CIの基調として，足下の変化をつかみやすい３か月後方移動平均をグラフ化したものが図１，３，４の３つのグラフです。

DI（ディフュージョン・インデックス）は，景気に敏感な諸指標（CIと同じ指標）を選定し，そのうち上昇（拡張）を示している指標の割合を示すものであり，主として景気転換点（景気の山・谷）の判定に使います。DIは採用系列のうち，３か月前の値と比較して改善している指標の割合のことで，これが50％を上回れば景気が拡張局面，下回れば景気は後退局面にあると判定します。景気がいいか悪いかについては，一応50％ラインが目安となりますが，近年，部門間のばらつきも目立ってきていますので，景気局面を判断する場合は，大半の部門に景気変動が波及している（したがってDIが100％あるいは０％に近い）ことを確認することが必要となります。

図５　景気動向指数（DI）累積指数



また，累積グラフ（図５）では，その山・谷がそのまま景気の山・谷に対応しているので，景気の局面や，転換点が視覚的にとらえられます。

※　DIは，各系列の変化率を合成したものではないので，DIの水準自体の変化は，景気の変動の大きさや振幅を表しているものではありません。

アクアワールド茨城県大洗水族館
ホームページより

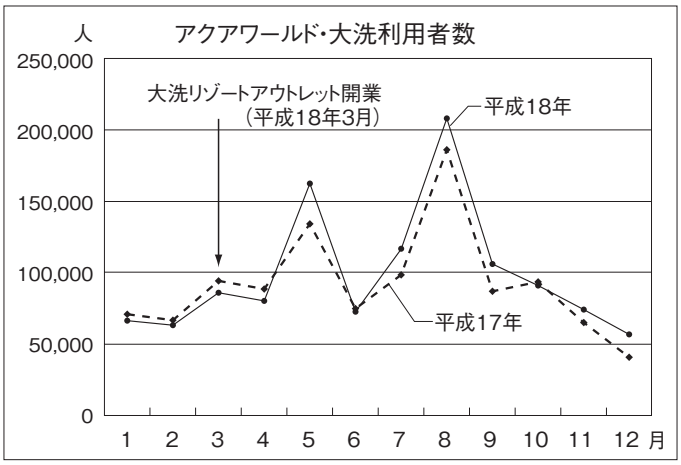
３　季節変動と季節調整

本誌「統計いばらき」には，盛りだくさんの統計情報が掲載されています。その中の「20　文化施設利用状況」を眺めてみましょう。「アクアワールド・大洗」の利用者数が月別に掲載されています。８月の利用者数が最も多く，２月の利用者が最も少なくなっていますね。「だから，８月は景気が良くて，２月は景気が悪いんだ。」と言い切れるでしょうか。

海水浴客数は，梅雨が明け夏休み期間中でもある８月が最も多く，寒い時期でもあり正月休みから過ぎ去った２月が最も少なくなることは容易に想像されるでしょう。「アクアワールド・大洗」の利用者数の動きも，「海水浴客数」の動きと無縁では無さそうですね。

「アクアワールド・大洗の利用者数」や「アイスクリームの売り上げ」のように，毎年決まった時期に増えたり減ったりすることを「季節変動」といいます。景気動向をみるためには，そういった季節変動を除いてみないと正確な姿を捉えることが出来ません。そこで，１年を周期とする季節的な変動を取り除くことを「季節調整」といいます。また，前年の同じ月との値を比較する方法も季節要因を取り除くことができます。「茨城県の景気動向（DI&CI）」では，「大口電力使用量」など「(前)」と表示してある指標は前年同月の比較で，それ以外の指標は季節調整係数を掛けて算出しています。

図6　アクアワールド･大洗利用者数



「アクアワールド・大洗の利用者数」の平成17年から２年間の月々の動きをグラフにしたのが図６です。５月と８月に山ができるのは２か年とも共通した季節変動のようです。ところが，同じ８月でも，平成17年と平成18年とでは，約２万人，10％強の差があります。グラフをよく見ると，平成18年の５月以降は概ね平成18年の数値が平成17年の数値を上回っているのが分かります。どうやらこれは，平成18年３月に，大洗海岸に開業した「大洗リゾートアウトレット」が影響しているようです。このように，景気変動の外に，特殊要因が加わることによって景気が良くなったり悪くなったりすることがあります。

「アクアワールド・大洗」と「大洗リゾートアウトレット」のような関係は，最近では，平成17年８月に開業した「つくばエクスプレス」と同「沿線開発による住宅着工増」などが思い出されます。逆に，工場の閉鎖や商業施設の撤退は地域に不景気をもたらします。そのような特殊要因があった場合は，各種の統計指標に数値として表れることがありますので，因果関係を分析することも可能です。

大洗リゾートアウトレット
（RESORT OUTLETS OARAIホームページより）

４　おわりに

景気動向指数のグラフは，本誌12ページにあるとおり，通常２年間のものをご覧いただいていると思います。本項では，20年間を超えたグラフを御覧いただきました。長期でご覧になった場合は動きが凝縮されますので，景気変動がよりはっきりと御覧いただけたと思います。

また，影響のある施設の立地や閉鎖が，来場者の増減や建設着工の増減に関連があることを述べました。最近では，平成20年９月に新観瀑台が作られてから「袋田の滝」に訪れる観光客数が増加している報道を度々見かけるようになりました。施設ばかりではなく，取り組みによっても「好景気」を演出している街があります。「Doまんなかモール」で有名な宮崎商工会議所の街づくりの取り組みがその一例です。

「はじめに」でも述べましたとおり，今は不景気な話題ばかりが目立っています。これは，世界同時不況とよばれる外的要因が大きいと思われます。街の取り組みによって，景気の後退傾向を弱め，自らの手法で景気を上向かせることを期待しております。

なお，茨城県景気動向指数の最新結果は，以下のホームページでご覧になれます。

いばらき統計情報ネットワーク　　http://www.pref.ibaraki.jp/tokei/betu/bukka/bukka.html